

産業廃棄物処理業者用システム規格 審査報告書 (当日用、トップシート)

受審企業等の名称：環境エンジニアリング(株)

年月日：H25年7月5日

[本審査・○定期審査・更新審査]

規格番号	要求事項項目	適合	不適合		所見		別紙コメントNo	システムの有効性			
			区分A	区分B	観察	推奨		順法性		別紙コメントNo	
3.1	全体を通した要求事項	○									
3.2	環境に関する基本方針	○									
3.3	環境に関する各種取り組みの計画	○									
3.3.1	環境影響要因	○									
3.3.2	法的及び組織が同意するその他の要求事項	○					NO1				
3.3.3	環境目的と環境目標の設定及び具体的な計画	○					NO2				
3.4	計画に基づいての実施及び運用	○									
3.4.1	実施及び運用するための体制と責任	○									
3.4.2	自覚と能力の向上を目的とした教育と訓練	○									
3.4.3	環境に関する情報のやり取り	○									
3.4.4	文書類の作成	○									
3.4.5	文書類の管理	○									
3.4.6	環境改善活動に関する管理	○									
3.4.7	事故・緊急事態が原因による環境への悪影響に対する準備と対応	○									
3.5	実施・運用した内容の点検	○									
3.5.1	実施及び運用項目の監視と測定	○									
3.5.2	法的及び組織が同意するその他の要求事項の順守評価	○									
3.5.3	環境改善活動が基準を満たしていない場合は正処置（再発防止）と予防処置（未然防止）	○									
3.5.4	各種記録類の管理	○									
3.5.5	環境に関する自己評価	○									
3.6	最高責任者による評価	○					NO3				

【総括所見】 前回指摘事項は修正の後は見られるものの、さらに検討を必要とします。

廃棄物の受け入れ量が営業努力により大幅増加している割には、環境負荷は増加せず、コピー用紙以外は目標を達成していました。そのため、現場的には今後挑戦すべき目標がないために環境保全活動がマンネリ化する懸念があります。もう一段高い目標を設定するか、違う目標を設定する必要があります。社会貢献を視野に入れて目標決定を行ってはいかがでしょうか。

文書管理等は申し分なく、よく整備されています。現時点では規格を満足しており認証継続を判定委員会に推薦しうる内容にあると判断いたします。

総合評価	向上 備考	○	維持		低下
------	----------	---	----	--	----

受審者確認（署名） 清沢香樹
 元寄耕策
 主幹審査員（署名） 尾崎耕策

所見に関するメモ

受審企業等の名称： 環境エンジニアリング株式会社

記入年月日： 2013年 7月 5日

審査員名： 尾崎耕策 /

(1 / 1)

コメントNo	規格番号／評価	メモ内容（観察事項⇒観・推奨事項⇒推を記述）
No. 1	規格番号 3. 3. 2	当該期間ではないが、小型家電リサイクル法が施行されたので、次回関連法規一覧表に可能性のある法規として記載してください。
	規格項目 法的および組織が同意するその他事項	
	観 勧	
No. 2	規格番号 3. 3. 3	目標数値が3年間一定であり、すでに達成しているため、現場の環境保全活動が停滞する恐れがある。もう一段高い目標を設定するか、別の目標を設定してはいかがか。
	規格項目 環境目的と環境目標	
	観 勧	
No. 3	規格番号 3. 6	現状に満足することなく、新たな目標を指示することも、最高責任者の職務であります。
	規格項目 最高責任者による評価	
	観 勧	
No. 4	規格番号 3. 4	コピー用紙の目標未達成は廃棄物受け入れ量が目標の3倍であることを勘案するとやむをえないところであろう。
	規格項目 実施および運用	
	観 勧	